

やまびこ

発行日：平成 25 年 7 月 発行：高山赤十字病院 高山市天満町3丁目11番地 TEL 0577-32-1111 発行責任者：地域連携課

入院サポートセンターを開設しました

入院サポートセンター
 師長 小竹林 恵子

患者さんへの安全で良好な療養環境の提供と、職員の働きやすい職場環境の整備を考え、適切な病床管理を実践していくことは当院の長年の課題です。そこで「患者満足・医療の質向上・職員満足」を目的に、病床管理と患者支援を合体させた新しいマネジメントスタイル：PFM（Patient Flow Management）に着眼し、「入院サポートセンター」を開設しました。PFMとは「病床管理を中央化し、効率的な運用を行うとともに、患者の“外来から入院、退院後の生活”の一連を視野に入れた一貫した支援を行う」事で、東海大学医学部附属病院など多くの病院で実施されています。当院では3年計画を立て、①病床管理室による適切な病床管理②事務職員による入院時オリエンテーションの充実③薬剤師による持参薬管理④看護師の患者さんやご家族との入院前面接による問題の早期発見と介入⑤多職種間の連携による患者支援の充実などを積み上げながら実践していきます。今年度は病床管理、入院時オリエンテーションの充実、持参薬管理より取り掛かります。地域の皆様のご協力をいただきながら、患者さんが安心して入院治療を受け退院の準備ができ、地域の生活に戻れるよう職員一同一丸となって努力していきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



入院サポートセンター入口



ご案内の様子

目次

- 入院サポートセンターを開設しました …1
- 第23回ひだ糖尿病科・メディカルセミナー ……2
- 第25回 ICLSさるぼぼコース開催報告 …2
- 医療安全講演会 ………………3
- 外来点滴室（外来化学療法室）からのお知らせ…3
- 第4回 飛騨地域脳卒中对策病院連絡会 …4
- 研修・講演・勉強会のご案内 ………………4
- 新任研修医の紹介 ………………5.6
- 退任医師 ………………6
- 平成25年度第1回地域医療連携検討委員会の報告 …6
- 編集後記 ………………6

第23回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー

平成25年6月15日(土)

高山赤十字病院 糖尿病看護認定看護師 芥川 かおり

今年も6月15日(土)に、高山赤十字病院・講堂にて『ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー』が開催され、一般演題では、飛騨地域各医療機関から様々な発表がありました。

岐阜県立下呂温泉病院からは、「新規入院患者における栄養管理部の取り組み」が発表されました。初回指導は基本的な食事指導を、2回目以降は患者の生活や病期・理解度に応じた指導を行い、退院後も患者自身がセルフケア行動を起こせ、継続して検査値が安定した症例でした。継続介入、個別指導の大切さを痛感しました。

JA岐阜厚生連久美愛厚生病院では、「糖尿病入院クリティカルパスの作成と今後の展望」が発表され、糖尿病患者支援委員会が基盤となり、患者に必要な検査や治療の提供、患者指導内容の統一を行った取り組みでした。患者指導は、チーム内の目標や目的を統一することで、患者のセルフケア行動にも反映されるので、チーム内連携・情報共有の大切さを実感しました。

特別講演では、東京女子医大糖尿病センター・糖尿病眼科教授・北野滋彦先生より、「糖尿病網膜症の治療と検査」についてのお話を聞き、糖尿病網膜症の病態や治療、眼科の受診間隔など、日頃の治療や看護に役立つ情報が多く学びました。

これからの糖尿病医療は地域連携が大切となり、様々な情報を多くの方と共有できればと思います。多くの方のセミナーへの参加をお待ちしております。



第25回ICLSさるぼぼコース開催報告

平成25年6月1日(土)

高山赤十字病院 手術室 中丸 義則

平成25年6月1日に、第25回ICLSさるぼぼコースを開催しました。

ICLSとはACLSの基礎コースで『突然の心停止に対する最初の10分間のチーム蘇生を習得する為』の日本救急医学会認定の1日完結コースです。コースの流れは、午前にBLSの手技、AEDの使用法、気道管理の方法、モニターによる致死的不整脈の波形診断、除細動器の使用法などを習得し、午後から実際にチーム蘇生の実技を行います。



飛騨地域では高山赤十字病院、久美愛厚生病院、飛騨市民病院の3病院で各1回ずつ、年に3回開催しており、25回目を数えた今回は、医師15名、看護師31名、救命士・救急隊員14名、臨床工学技士1名、薬剤師2名、理学療法士1名、計64名(うち受講24名)が参加しました。

以前は開業医の先生にも受講して頂いてましたが、アナウンス不足もあり、ここ数年下火でした。しかし今回、久々に地域の看護師2名に受講して頂きました。受講枠に限りがありますが、引き続き地域のスタッフにも門戸を開き、少しずつでもチーム蘇生の輪が広がればと念じております。



最近幅広い職種の方のご受講頂いています。医療機関に勤務している以上、誰もが遭遇する心停止に対して、共通の知識を持つ事により、職種を越えて阿吽の呼吸でチーム蘇生ができます!! 興味のある方は、是非ご参加下さい!!

医療安全講演会

平成 25 年 6 月 26 日 (水)

「TeamSTEPPS (チームステップス)」

－ チーム医療と患者の安全を推進するツール －

国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院

医療安全管理室 鈴木 明先生



TeamSTEPPS (チームステップス): Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safetyは、エビデンスに基づいた医療の質、安全、効率を改善するためのチームワークをトレーニングするツールであり、医療チームのパフォーマンス向上と患者のアウトカム(目標とする治療効果)の最適化、そして、最終的には組織の安全文化を醸成することを目標としています。

チームスポーツで、チームとしての練習なしでよい結果を得られないのと同様に、多職種のメンバーが協働して行う「チーム医療」でもチームとしての練習が必要と考えられます。ビデオ教材などを活用し、リーダーシップ、状況モニター、相互支援、コミュニケーションの4つの能力を実践するために必要な行動と技術を学びます。



我々の施設でも、インシデント・アクシデントを分析すると、「コミュニケーションが不足していた」とか、「引き継ぎがうまくいかなかった」といった事がよく話題となります。やはり「チームとして働くことのトレーニングをする」事が必要で、チームステップスは有用だと考えられます。

外来点滴室(外来化学療法室)からのお知らせ

外来点滴室 看護師 加賀美 千津



平成21年7月より1病棟の2階に外来点滴室として開設しました。当初は、週3日(月・水・金)の治療日でしたが、平成25年4月から毎日(土・日・祝祭日休み)治療ができるようになりました。スタッフは、薬剤師2名、看護師2名、事務員1名です。

外来点滴室(外来化学療法室)は、外来通院しながら化学療法(抗がん薬の点滴)や、生物学的製剤(関節リウマチ、炎症性腸疾患の治療薬)の点滴を受けるための専用空間です。

ベッドが7床、リクライニングチェア1床あります。ベッドにはテレビ、DVD、ビデオ、冷蔵庫

の設備があります。いつもリラックスした雰囲気でお治療を受けていただけるよう静かな曲を流しています。薬剤は、薬剤師が別室の安全キャビネットの中で無菌的に調剤をしています。

外来点滴室は、通院治療を受ける患者さんに対して、心配ごと、副作用などの相談にも乗っています。

患者さんやご家族に寄り添い安全、安楽な看護を提供できるよう努力しています。患者さんの「普通に生活できることは嬉しい」「こんな良いところで点滴ができる」こんな声を励みにスタッフ一同がんばっています。よろしくお願いします。



第4回 飛騨地域脳卒中对策病院連絡会

平成25年6月20日(木)

当院では平成22年度より飛騨保健所より生活習慣病医療連携事業の委託を受け、脳卒中発症後の重症化予防や再発予防のために必要な地域医療連携等の対策について検討しています。今回は歯科口腔外科と救命センター看護師の共同による先駆けの取り組みについて紹介します。

「脳卒中对策として歯科口腔外科と 救命センター看護師の共同とりくみ」



歯科口腔外科 今井 努

当院の救命センターでは、急性期の脳卒中患者の受け入れを行っておりますが、特に重度の意識障害を伴う患者では不顕性の誤嚥性肺炎の発生が合併症として発生することがあります。また挿管患者においても、挿管チューブを介し気道内へ口腔内の分泌物が少しづつ漏洩し、それが誤嚥を引き起こすことがあります。

誤嚥性肺炎により入院期間の延長や、患者の社会復帰が遅れるといったことが発生することもあります。

今回6月より救命センターと、当院歯科口腔外科と協力して救命センター入室の脳外科疾患の患者様はすべての症例で、できるだけ早く口腔外科医が口腔内評価をする取り組みを行っております。

そのスクリーニングの中で誤嚥性肺炎の可能性の高い患者に関しては口腔外科医が積極的に介入、専門的な口腔ケアを行うことにより、誤嚥性肺炎の発生を防ぐ試みを行っております。また、誤嚥性肺炎が低いと思われる患者は、看護師による口腔ケアを施行しますが、その際のアドバイスも行っております。

現在開始してから1ヶ月が経過しましたが、まだ目に見える成果は上がっておりません。しかし急性期の患者に関与することにより患者の早期退院および早期社会復帰に寄与できると思われまますので、この試みを継続していく予定です。

研修・講演・勉強会のご案内

・「スキンケア勉強会」

平成25年8月3日(土)9:00~15:30 / 8月10日(土)9:00~12:00

高山赤十字病院 本館 3階 講堂

・「第2回地域医療連携研修会 ~放射線治療の最前線~」

平成25年8月30日(金)18:30より 高山赤十字病院 本館 3階 講堂

・「第5回 地域脳卒中連携研修会」

平成25年9月19日(木)18:30より 高山赤十字病院 本館 3階 講堂

・「第14回 地域連携症例検討会」

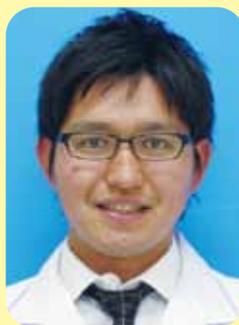
平成25年9月25日(水)19:30より 高山赤十字病院 本館 3階 講堂

※詳細は、追ってご案内いたします。

新任研修医の紹介

4月に7名の研修医が赴任しましたので、ご紹介致します。

- ① 出身地
- ② 興味のある分野
- ③ 診療に対するモットー&自己紹介 など



ばんの しんや
坂野 慎哉

- ① 愛知県東海市
- ② 外科、救急医療
- ③ 4月より研修医として高山に参りました。岐阜大学出身です。1人1人の患者様にとって最良の医療を提供できるよう努力していきたいと思っています。まだ至らぬ点ばかりですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。



なかしま だい き
中島 大樹

- ① 愛知県一宮市
- ② 地域医療
- ③ 医師として働き始めるにあたって、地域を支える先生方、スタッフの方々の下で頑張りたいと思い高山に来させていただきました。少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。



くろかわ だいすけ
黒川 大祐

- ① 岐阜県各務原市
- ② 消化器
- ③ 今年4月から高山赤十字病院で研修医としてお世話になっている黒川大祐です。まだ至らぬ点も多いですが相手の立場にたって真摯に患者さんと向き合っていきたいと思っています。よろしくお願いします。



いまいずみ としのり
今泉 俊則

- ① 愛知県豊明市
- ② 内科全般
- ③ 患者さんに優しく接することが出来るように心がけています。岐阜大学を卒業してから高山で2年間お世話になることとなりました。よろしくお願い申し上げます。



よざわ さいん
世沢 さ胤

- ① 岐阜県岐阜市
- ② 整形外科、泌尿器科
- ③ 新潟大学出身の世沢です。岐阜市で生まれ、埼玉に引っ越して新潟に行き、高山にやってきました。医学はもちろんです。高山についてもまだまだ知らないことがたくさんあるので、これからどんどん学びたいと思います。よろしくお願いします。





かわうら りょう
川浦 僚

- ① 愛知県一宮市
- ② 耳鼻咽喉科、産婦人科
- ③ 初期研修医1年目として、平成25年4月より高山赤十字病院で勤務させて頂いています。常に新しい経験のある毎日ですが、初心と向上心を忘れぬようにいたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



よこやま きみ か
横山 公香

- ① 岐阜県各務原市
- ③ 4月から高山赤十字病院で研修をさせて頂いておられます。口腔外科の研修医としてまだまだ未熟ではありますが一所懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

退任医師

産婦人科副部長 石川 梨佳 5月31日付 研修医 鈴木 あさ美 6月30日付
お疲れさまでした

平成25年度 第1回地域医療連携検討委員会の報告

標記委員会を5月29日（水）に開催いたしました。

地域医療連携検討委員会は、地域医療機関等からの要請に対応し必要な支援を行えるよう審議し定期的に開催される委員会です。

委員会では紹介率・逆紹介率、地域連携の現状などの業務実績や入院サポートセンターの開設について報告をいたしました。又、井川がん治療研究副部長より「乳癌診療における地域連携の可能性について」の演題でミニレクチャーが行われました。

意見交換では医師不足、在宅福祉、口腔ケア、開放型病棟の利用等、委員の方から多くのご意見を頂きました。

編集後記

30度を超える日、急に降りだす雨でじめじめとする日もあり、体調を崩しやすい季節です。はじめまして、地域連携課に7月より勤務しています若田と申します。よろしくお願ひします。花が大好きで、今は庭に咲くアジサイ・ナデシコ・ナツツバキ・・・などを見て癒されています。

毎日の業務でフリーズしてしまう事もありますが、職場スタッフに助けてもらい頑張っています。今後も様々の対応を積み重ね、スムーズな対応ができればと思っています。

地域連携課 若田 きみ子



日本赤十字社

高山赤十字病院
地域連携課

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

〒506-8550 岐阜県高山市天満町3丁目11番地
TEL : 0577-35-1880 FAX : 0577-32-1165
メールアドレス byoshin@takayama.jrc.or.jp
ホームページ http://www.takayama.jrc.or.jp/